



自衛隊新潟地方協力本部

中越地震から20年 「みんなの防災フェア」広報活動

新潟地本（本部長 1陸佐 村岡史朗）は9月28日（土）・29日（日）、第2普通科連隊（連隊長 1陸佐 末本紀彦）とともに長岡市のハイブ長岡にて開催された「みんなの防災フェア&スマートエネルギーフェア2024」において広報活動を行った。広報ブースでは車両展示（炊事車・高機動車・軽装甲機動車・オートバイ）と制服試着を実施し募集ブースでは自衛隊制度説明を実施した。

頻発する自然災害により例年以上に防災意識が高まる中、中越地震から20年の節目ということもあり、両日ともさわやかな秋晴れの空の下各ブースは大勢の来場者で賑わった。中でも注目を集めたのは、中越地震の災害派遣でも活躍した炊事車（野外炊具1号）で、食材のカットから炊飯、汁物、焼・煮・炒・揚げ物等のあらゆる調理に対応し、一度に200人分の温かい食事を約45分で調理できるトラックである。来場者は興味深そうに外窓を覗いたり、調理器具の大きさに驚いた様子だった。「何人分の食事が作れるんですか。」や「調理の燃料は何を使っていますか。」と隊員に質問している来場者も見られた。また募集ブースでは、家族で来場した募集対象者が広報官から自衛隊の説明を熱心に聞く様子も見られ、「様々な制度や職種があると聞き、進路選択の一つとして考えてみたい。」と話した。

新潟地本は「今後も様々なイベントで他部隊と連携した魅力的な広報活動を行い、自衛隊への親近感の醸成を図る。」と述べている。

